

志を持って挑戦する生徒が切磋琢磨する福山誠之館高校

授業を大切に、課題は個別最適化 主体的な学びで高い進路希望を実現

今年で創立170年目を迎える広島県立福山誠之館高等学校。歴史に名を残す多くの先輩を輩出し、現在も県東部有数の高い進路実績を誇っています。今年4月に赴任した中居寛美校長、齋藤大輔教頭、山崎愛子先生、高田和美先生、見浦進理先生に、能開センター広島本部高校受験責任者・柿木真さん、能開センター福山校大学受験責任者・上野真康さん、同校・菅利行さん、能開センター福山校責任者・秋吉靖幸さん、同校・表洋平さんがお話を聞きました。※以下敬称略

モットーは「明るく楽しく元気よく」「克己の心」を持ち、仲間と学ぶ

柿木 中居校長はこの様な個性、能力を持って行こうという思いを春赴任されましたが、1学期を終えて感じられた生徒さんの印象は？

中居 パワーがありまっすぐにMDFという創作劇を披露したのですが、脚本・演出などの全を生徒が自分たちで考え、よいものに仕上げようという意図を交わしながら、素晴らしい舞台を作り上げていました。多

自信を確信に変え、進んでいます。誠之館の校名にもつながる「誠の心」は大切なことだと思います。掲げられている言葉の中に、自分を打ち勝つ「克己の心」。一人では難しいですが、仲間と切磋琢磨することで、高い志を持って、失敗を恐れず、挑戦する場ば大丈夫。誠之館はそんな学びの場であると考え



広島県立福山誠之館高等学校・中居寛美校長



(左上から時計回りに)教頭・齋藤大輔さん、主幹教諭・山崎愛子さん、進路指導部長・見浦進理さん、指導教諭・高田和美さん



(左上から時計回りに)柿木真さん、上野真康さん、秋吉靖幸さん、菅利行さん、表洋平さん

学検点の占める割合が大きい特色校 自校作成問題対策のカギは教科書

表 県の公立高校入試 改革から2年、誠之館の入学試験は特色校(定員の50%)の比重が内申点10%の比重を占めています。O・学検点800・自己表現200、教科書の傾斜は学検点占数学6倍、英語4倍、国語2倍と、必要なのは、中学の教科書の内容をしっかりマスターすることです。数学の解き方や考え方、英語の文法事項や単語を、最も整理して書いておきたい。中居 これからの努力次第で皆さんの可能性はあります。中居 これからの努力次第で皆さんの可能性はあります。

中居 内申点は中学校で努力した結果を示す大切な指標ですが、試験当日のプレッシャーに打ち勝つ努力してきた力を発揮できたことへの評価です。本校のアドミッションポリシー「まささまな変化をチャンスと捉え、失敗を恐れずチャレンジを続ける強い志をもった生徒を求めたい」とある通り、学検点の大きい数値が、次第に違いを受けます。教科書の内容を入れ、精神的にも成長し

中居 以前は一言に課題を出していましたが、今は個別最適化しています。一言課題は、先に進みたい生徒にはその課題があるために進めない基本を固めた生徒は課題が難しく答えを丸写す

見浦 自習室には朝早くから多くの生徒が来ていて、それが当たり前の光景になっています。菅 課題の出し方も工夫されています。最初は授業の様子を見たり、検討

中居 以前は一言に課題を出していましたが、今は個別最適化しています。一言課題は、先に進みたい生徒にはその課題があるために進めない基本を固めた生徒は課題が難しく答えを丸写す

見浦 自習室には朝早くから多くの生徒が来ていて、それが当たり前の光景になっています。菅 課題の出し方も工夫されています。最初は授業の様子を見たり、検討

中居 以前は一言に課題を出していましたが、今は個別最適化しています。一言課題は、先に進みたい生徒にはその課題があるために進めない基本を固めた生徒は課題が難しく答えを丸写す

福山誠之館高校を目指す中3生の皆さん、まずは体験受講してみませんか。福山誠之館 入試実戦体験講座 9/7 無料 主催/能開センター広島本部

能開センター 福山誠之館高校入試対策講座 9/7 無料 福山誠之館入試実戦体験講座 9/14 無料 福山誠之館尾道北入試実戦講座